

差し支えなし 催促なし

お彼岸を過ぎ、朝夕の冷え込みが本格的になってきましたね。今月三日は最低気温が九・六度と十度を切りました。さすがにユニクロのステテコと半袖シャツという普段着では肌寒さに耐えきれなくなり、ステテコ・半袖シャツともお別れです。

お彼岸といえば九月二十三日秋彼岸お中日の当山彼岸会法要では「生死輪廻・六道輪廻・五道輪廻・輪廻転生」をテーマにお取次ぎをいたしました。

「輪廻」を法話のテーマにしようと思ったのは、八月号の寺報二頁「終活に」思うで触れましたが親鸞聖人のご著作『顕浄土真実教行証文類』（以下『本典』）「総序」にある次の一文

「もしまたこのたび疑網に覆蔽せられれば、かへつてまた曠劫を経歴せん。」（原文）によります。

総序のご文は毎朝門徒会館お朝事でつとめています。

「もしまた、このたび疑いの網におおわれたなら、もとのように果てしなく長い間迷い続けなければならぬであらう」（現代語訳）

と親鸞聖人がお示しですが、私は長い間、「あなたを必ず救うから私を信じてその身をまかせ念仏申す身になってください」との阿弥陀さまの本願を疑って来たから、願を疑って来たから、地獄・餓鬼・畜生・修羅・人・天という六道を生まれ変わりと毎朝お聞かせいただいていたとす。

幸いなことに、今、受けがたい人としての命をいただき、出遇いがたい仏法をお聴聞させていただくご縁を賜っています。

本堂での毎朝のお朝事は親鸞聖人ご著作『本典』「行巻」の正信念仏偈。

その正信偈の源空章には
還来生死輪廻家
決以疑情為所止
速入寂靜無為樂



願を疑って来たから、地獄・餓鬼・畜生・修羅・人・天という六道を生まれ変わりと毎朝お聞かせいただいていたとす。

幸いなことに、今、受けがたい人としての命をいただき、出遇いがたい仏法をお聴聞させていただくご縁を賜っています。

本堂での毎朝のお朝事は親鸞聖人ご著作『本典』「行巻」の正信念仏偈。

その正信偈の源空章には
還来生死輪廻家
決以疑情為所止
速入寂靜無為樂

必以信心為能入（原文）とあります。

現代語に訳すと「迷いの世界に輪廻し続けるのは、本願を疑いからうからである。速やかにさどりの世界に入るには、ただ本願を信じるより他はない」となります。

阿弥陀さまは私を差し支えなし 催促なしと絶えず見守ってくださいます。

「五逆十悪のあなたでも救いに何の差し支えもないし、救うためにあれを、これをせよと催促もいたしません」とのお救いが阿弥陀さまのお心。本願を疑うことなく、「救いの目当ては地獄行きのお前一人だぞ」といただいで、疑いの網におおわれることなく、何もものにも妨げられることのないお浄土への念仏無礙の道を歩んでいきたいと、毎朝のお朝事のご縁をつとめています。

法語の世界

〈原文〉

毎事無用なることを仕り候ふ義 冥加なきよし 条々いつも仰せられ候ふよしに候ふ

（『蓮如上人御一代記聞書 二百六十五』）

〈現代語訳〉

蓮如上人は「どんなことであれ 不必要なことをするのは仏のご加護を軽視する振る舞いである」と、何かにつけていつも仰せになられたということです。

2021 (令和3) 年 恩講・秋参り (家庭報恩講) 日程について

本年の恩講・秋参り (家庭報恩講) の日程についてお知らせします。恩講の期日が未定の地区 (古賀西) は早めに相談をお願いします。例年どおりで記載しておりますが、決定ではありませんので座元は早めの相談をお願いします。遠方 (熊本市・益城町・御船町・宇城市、延岡市・日向市、宮崎市、高千穂町) と中入・大平、渡瀬、山都町の秋参り (家庭報恩講) の日程はハガキでお知らせします。なお、葬儀が入りましたら秋参り (家庭報恩講) の日程は変更します。

■ 恩 講

10月22日	波帰	折立	矢惣園	深谷
11月13日	石の内	大石	古賀東	
11月7日	瀬川	小川	本屋敷	木合屋
11月9日	流峰	長揚	尾野	スクナ原
11月12日	原	萩	道	荒谷
11月17日				
11月18日				
11月19日				
11月20日				
11月22日				
11月23日				
11月24日				
12月4日				

■ 秋参り (家庭報恩講)

10月12日	東光寺、寺村、笠部
10月13日	予備日
11月7日	一の瀬
11月9日	原目
11月12日	下川、三ヶ所